

三月大東亞戰爭衛生史編纂資料

獨逸軍隊衛生隊

一、部隊行動、概要

部隊、依然武穴地區ニ駐留シテ体力、鍊成並ニ歸還後ノ職業補導及相互扶助、對策ヲ考究シテ、又農務不期ノ目捷、厩ニ廻ヘ宿營附近住民ノ積極的援助(例之土運ビ)及武穴市内清掃作業其他持業兵(例之大工、木工、理髮、時計修理等)ノ協力作業逐次活潑化シツ、アリ

二、衛生勤務、概要

一、軍醫指導事項

部隊附軍医將校以下衛生部員、懇切ナル診斷、看護、温存ニ依リ藥物不足、蓋路ヲ突破シ衛生成績、向上並ニ在隊死亡、撲滅ヲ指導シテ、又集中地検査終了後、所見ニ鑑ミテ劣弱兵、保育②、再發マリア、撲滅③、身体保清④、駆具、徹夜ヲ要望シテ、アリ

一字抹消

2. 患者療養所ノ状況

月余ニ歩ル連日降雨ノ爲、天竺病室ハ雨漏濕潤等ニ依リ患者収容ト難矣多ク速カニ民家、ス共建築物ニ移轉スベク銳意努力力中ナルモ實施ニ當リテハ住民ノ積極的援助ナクテハ甚ガ困難ナル狀況ナリ

新ニニ、三口名内外収容ノ病室建設ノ計畫中ナリ

月間収容患者

後送患者(九江英姑病院)

死 七

治 癒(原隊復帰)

3. 患者収容後送ノ状況

月間第一七七英姑病院ノ患者後送セラレタルヲ以テ部隊患者中榮養失調様患者、再發マリアニ依ル榮養衰頹患者等長期治療ノ要ムル者ハ早期ニ入院セシメ

内科 1名
外科 4名
合計 5名

1名(急性肺炎兼多リヤ音熱)

入名

在隊死亡、絶無ノ期シテリ、九江へ後送ニ當リテハ部隊ノ
 弁使ツク、漸ク在武穴第三ニ分駐ノ船ニ使乗セシメラル現況
 上リ、尙患者療養所閉鎖ニ際シ病症上乗隊復帰
 不能者ハ全部九江へ後送ノ予定ナリ

三、給養被服ノ状況

連日降雨ニ依リ糧食ノ蒐集輸送等甚ク阻害セラレ
 爲ニ中國側ヨリノ給與困難ナラズ、各部隊ハ主食概ネ四ロロ
 瓦ニ減ラセシメ且船内用予備糧秣ヲモ一部給與シ漸ク難
 關ヲ突破セリ。下旬以降逐次主食新米ニ代替ニ交付セ
 ラレ現在概ネ主食五ロロ瓦食塩一五瓦副食ハ葱青菜
 豆等ニシテ依然動物性蛋白ニ乏シキ憾アリ。
 月間被服ノ支給ナケレドモ修理用材料相當量到着シ
 被服検査ニ依ルニ合格者ハ全部修理シテリ。逐次気温
 ノ上昇ト共ニ外套冬衣袴ノ温存ニ努メ蚊張代用品ノ

作製ヲ考究シテアリ。

四、防疫所瘡ノ状況

八日間晴天ニ惠マレザル爲ニ被服洗濯入浴等實施甚ク

爲ニ兵保有者ノ増加ヲ慮リ、被服、冷水浸透(三四時間)

ニ依ル靴底ヲ嚴行セシメツアリ、回燻熱發生ナシ

之、隊下独歩ニシテ大隊ニ於テ、結核患者 名 發生、同時ニ

發生中隊ノ消毒ヲ實施セリ。

3. 三月二日山砲隊宿營地削落中固々ニ具性瘡瘡一名發

生セルヲ以テトシテ他中隊トノ交通ヲ遮断シ、同隊及削落

民ノ一齊種痘ヲ實施ス(瘡苗ハ廣濟院立病院ヨリ)

又新ニ軍ヨリ瘡苗ヲ受領シ三日之ヲ削隊ニ交付實施

セシム、爾後瘡瘡續發セズ

又因發マリア(三日熱)ハ依然多ク、藥物不足ニ依ル治療不徹

态ト思考ヒラル、未ダ飛蚊ヲ認めズ

(續 卷第・京東)

一字抄補

月間患者療所病理試験室受付、検血成績左ノ如シ

被検数	陰性	陽性	陽性率(%)
五二八	二七九	二三八	四七・二
	三日熱	四日熱	
	二三八	一一	

熱發患者、検血勵行ハ確實ニ實施セラレツ、アルモ陽性者ニ對シテハ殆んど二日ノ硫規錠ヲ漸ク與ヘ得ル程度ナリ、不定分ハキニ夜注射ヲ實施セシメアリ、

五、患者發生狀況

月間結核一名急性肺炎二名、他百發マリアリ、
シテ腸炎等消化器病者甚シ

新患総數五七五ニシテ百發マリアリ、三三三名ナリ

患者療養所収容ノ患者等ヨリ推察スルニ、部隊ニ於テハ早期受診ノ機ヲ失ヒ、初療ノ適切ヨク欠ギ却テ患者ノ豫後ヲシテ不良ナラシムル者アリタルヲ以テ、各部隊ニ對シテ藥物不足ノ拮据特ニ早期受診ノ確行シ、症状ノ輕重ニ依ル

陸軍

鑑別診断、適確及患者、善處ヲ圖調セリ

六、衛生材料ノ状況

月間補給ノ度ケレ衛生材料ハアスピリン錠以下大凡ニシテ
枚量又尠少ナルヲ隊交付不可能ナルヲ以テ主トシテ患者察
養所ニ交付重莫的使用ヲ盡セリ、尚月間同時ニ瘡疥
四年々分ヲ受領セリ。

マリア剤、止痛劑、^下熱劑等僅少ニシテ診察ニ益路ヲ形
成シツ、アリ。

現地自治ニ関シ特筆事項ナシ